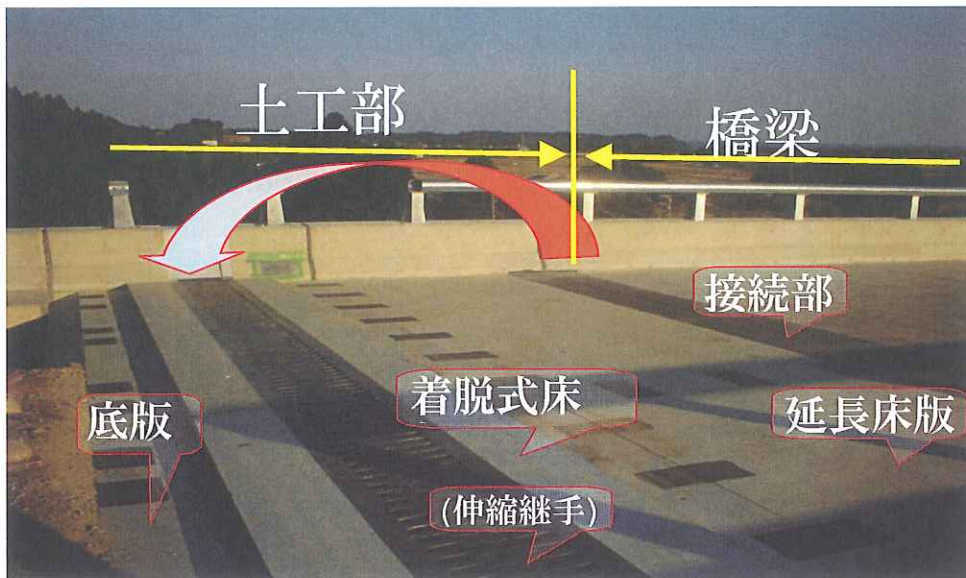
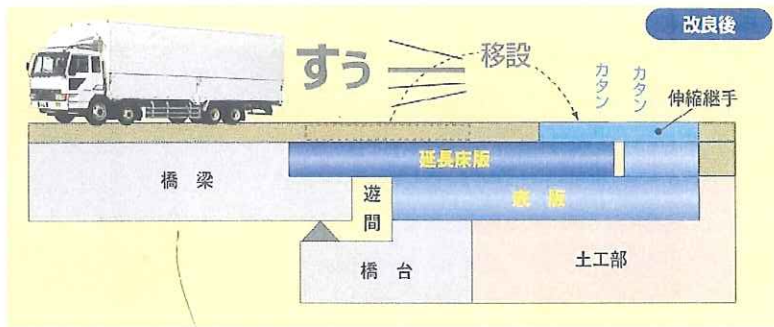


技術概要（様式）

※別紙2

技術分類	安全 防災 <input checked="" type="radio"/> 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	延長床版システムプレキャスト工法	担当部署	九州支店営業部
NETIS登録番号	KT-090058	担当者	小野 宏
社名等	株式会社ガイアートT・K	電話番号	092-714-6501
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>本工法は、橋梁端部の伸縮継手に起因する振動や騒音の発生や、漏水による桁端部や支承の劣化等を抑制することを目的とした環境工法です。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>従来の橋梁では端部（土工部の境）に伸縮継手（フィンガージョイント等）が設置されていますが、延長床版システムプレキャスト工法は底版（RCプレキャスト版）をパラペット上に設置して、既設床版に延長床版（RCプレキャスト版）を接続、延長することで、伸縮継手を土工部に移設することにより、騒音・振動を抑え、桁端・支承の劣化を防止します。また沈下対策としてリフトアップ機能を有しているため土工部沈下による段差防止になります。RCプレキャスト版を採用することにより高品質で高耐久であり、急速施工が可能となりました。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>①ジョイント部においては、土工部に移動することにより小型化が可能となり、荷重伝達型のため耐久性が向上し、騒音・振動とも大幅に低減します。</p> <p>②遊間部においては段差の恒久的な解消、衝撃緩和で地盤振動低減、漏水防止で支承・桁など桁端部の耐久性が向上します。</p> <p>③橋梁部においては衝撃減少で耐久性が向上し車両のバネ下振動の減衰で低周波振動を抑制します。</p> <p>④東日本大震災で効果を発揮した6技術に選ばれ、NETIS震災復旧復興支援サイトに掲載されました。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設・既設橋への設置・改修が可能です。 ・短期間での設置・撤去が可能です。 <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 6 件（九州 0 件、九州以外 6 件） 自治体 1 件（九州 0 件、九州以外 1 件） 民間 22 件（九州 6 件、九州以外 16 件）</p>		

6. 写真・図・表



施工実績 宮崎県

